

# ベーシックマスター 現代文

## 表現〈入門〉編

第五回 文の組み立て⑤ | 文の並べ順 | 例題

A 主部＋短い対象部＋述部。

長い対象部＋主部＋述部。

B 修飾部と被修飾部はなるべく近づける。

長い修飾部から先に並べる。

C 従属節や接続部は先に、主節は後に並べる。

連体修飾節と連用修飾節は被修飾部となるべく近づける。

D 「主部＋主部＋述部＋述部」ならば、なるべく  
「主部＋述部＋主部＋述部」の順に並び替える。

E 「主部＋述部＋述部」ならば、なるべく片方の述部を連体修飾節にして「連体修飾節＋主部＋述部」にする。

F 並列・比較型の重文の場合、前後で語順や文体をなるべく合わせる。

G 時や場所や条件や話題などは、文頭に置いて先に知らせる。